

かたくらシルクホテル開業内覧会へお越しの皆さまへ

かたくらが新しく
生まれ変わりました

上諏訪温泉 湖岸通りにグランドオープン！

諏訪湖畔に佇む歴史ある宿「かたくら諏訪湖ホテル」を運営する片倉興産株式会社(本社:東京都中央区明石町6番4号、代表取締役:片倉康行)は「かたくら諏訪湖ホテル」を全面的に改装、よそおいも新たに「かたくらシルクホテル」(全10室)として2021年(令和3年)4月22日(木)、グランドオープン致します



湖畔の洋館
かたくらシルクホテル
KATAKURA SILK HOTEL



私どもは明治6年(1873年)に岡谷市にて片倉市助が養蚕・製絹業を興して以来、その財を地元の発展にも還元すべく、さまざまな地域貢献活動にも力を尽くし、公共の福利厚生施設として誕生した温泉施設「片倉館」をはじめ、別邸「菊の間」迎賓館、かたから諏訪湖ホテルなどを運営してお客様にこころ和む、癒しのステージを提供してまいりました。

「かたからシルクホテル」はこうした資産を受け継ぎ、シルクや歴史を生かし、訪れた方々の心に深く刻まれるホテルを目指す所存でおります。



湖畔の洋館
かたからシルクホテル
KATAKURA SILK HOTEL

かたからシルクホテルのロゴマークは、シルク(絹)の織りなす綾織(あやおり)のイメージと、片倉家の家紋をモチーフに、「至誠是天ニ通ズ」そして「進取の精神」の家訓から、手を取りあって未来に向かって伸びていく文様とともに、シルクの頭文字「S」をかたどったアシンメトリーのデザインを採用しました。ゴールドはシルク、そしてホテルのブランド感から。爽やかなブルーは諏訪湖畔の抜けるような青空と湖面から。あざやかな2つの色彩をキーカラーとしています。

VISION

シルクのようなホスピタリティで、人々の心に刻まれるホテル

【「シルク」に込めたおもてなしの心】

「片倉家」は創業以来、シルク（絹）を通じて世界に日本の魅力を発信し続けて参りました。シルクは独特の光沢と色彩を有し、なめらかさと軽さ、そして強さを持つ天然・有機素材です。明治以降はKATAKURAブランドの日本産シルクが欧米で愛され、衣・食・住、さまざまな生活のなかで装いだけでなく美や健康にも大きな効果をもたらしてきました。この「シルク」をコンセプトに、お客様の「特別な日、特別な時間」を感動へといざなうお手伝いをさせていただきます。

MISSION

伝統と地域をつなぐ、ここにしかないおもてなしで
本物のやすらぎを提供する

【地元企業との協働、地域貢献を目指すホテル】

私どもは養蚕・製絹業を創始して以来「この発祥は日本の国土と国民からの恩恵に他ならない」として利益の還元、地域貢献、育英事業に力を注いで参りました。新ホテルもこうした「地元企業・県内企業とのコラボ」「地域特性を生かしたおもてなし」を大切に館内の随所にSUWAプレミアムの什器・備品を配し、食材には信州プレミアム牛や蓼科牛をはじめ米・パン・野菜やジェラートに至るまで、また八ヶ岳中央農業実践大学校直営の八ヶ岳農園の乳製品や有精卵、美容と健康にも良いとされるシルクパウダーなど地場産品をふんだんに、ご提供してまいります。

VALUE

- ・プロフェッショナルであること
- ・責任感とその先を見据えた視点
- ・誠意と信念。そして遊び心と笑顔

【昭和のモダン邸宅「かたくら邸」に住まう上質な諏訪時間】

二代片倉兼太郎が築き上げた片倉館の昭和初期の洋風建築を「かたくらシルクホテル」の随所にも施すことで過去と未来の一体化を目指しました。江戸時代より続く片倉の歴史に触れることができる場所。そして旅館建築の多い諏訪湖畔において、昭和モダンでスタイリッシュなしつらえのなかで、お一人お一人に上質な諏訪時間をお過ごしいただけます。

つ
づ
く
物
語
。
つ
な
ぐ
想
い
、
つ
む
ぐ
伝
統
、

シルクを通じて世界に日本の魅力を発信し続けてきた

「片倉家」が培ってきた「伝統」。

SUWAプレミアムの什器備品や地場産品にこだわった味わいなど

地域のさまざまな人々のこだわりや想いを

ホテルのおもてなしに。

五感を意識したおもてなしで演出する

ここでしか体験できない時間とそれぞれのゲストのストーリー。

つむぐ。つなぐ。つづく。

かたくらシルクホテルには、世界中のどこにもない

ここにしかない空気が流れています。



シルクのように 五感を満たすおもてなし

「かたくら」は日本の歴史の中で「シルク(絹)」を通じて
世界に日本の素晴らしさを伝え、愛されてきました。

新ホテルのコンセプトは、シルク。

すべやかな肌ざわりや風合いはもちろん、その光沢に満ちた美しさや存在感は
時代を超え、今も高貴な天然繊維として重用されています。

そんなシルクのように上質で、さまざまな人々を癒し、

なめらかに包み込むようなおもてなしの数々で

満ち足りた時間を演出いたします。



GUEST ROOM

湖畔ならではのロケーションを生かした、すべて趣きとしつらえの異なる9つのタイプの客室
SUWAメイドにこだわった調度品やシルクを生かしたアメニティが心地よい時間を紡ぎます。



[ロビー・ラウンジ]

チーク材を使ったラウンジは、バイオエタノールを使用している暖炉や、かたくら諏訪湖ホテル時代から使用している振り子時計が落ち着いた空間を演出しています。

大きな窓から見える中庭、開放感あふれる吹き抜けは非日常の空間へ誘います。



[2階ラウンジ]

片倉家の歴史に触れるギャラリー

初代、二代そして三代片倉兼太郎の銅像が並び、彼らが愛用していたものや書物を展示。片倉家、製紙業の歴史に触れるギャラリーです。



[3階ラウンジ]

くつろぎのライブラリー

広い窓から諏訪湖を望みながら、くつろぎの時間をお過ごしください。雑誌や画集、音楽や美術など芸術に関する書物が並ぶライブラリーにはフリードリンクコーナーを設置し、ゆったりとした時間をお愉しみいただけます。



201 KATAKURA ~片倉~

創業家の名をもつ特別室。濃く深い色合いの調度、どこか懐かしさを感じるクラシカルな雰囲気が特徴です。



202 SHUSU ~緇子~

グレイとホワイトを基調としたインテリアが、シックでエレガント、スタイリッシュな雰囲気を醸し出します。



203 HABUTAE ~羽二重~

空間の随所に配されたシャンパンゴールドが趣きを深め、エレガントで品格のある美しさを証言しています。



205 AYA ~綾~

ダークウッドとベージュの効果的なコントラストが、綾なすクラシカルで上品なイメージ。心と静謐な空間。



206 RINZU ~輪子~

100㎡のゆったりとした癒しの空間。オールドウッドなアンティーク感が重厚なイメージを醸成しています。



301 KINU ~絹~

澁刺と明るく華やかな織物をイメージ。白木の調度と優しいインテリアの調和が描く美空間に心がやすらぎます。



302 RO ~紹~

ナチュラルな木目調が特徴の105平米のお部屋。湖の陽光を採りこむ開放感とラグジュアリーな雰囲気が魅力。



303 TSUMUGI ~紡~

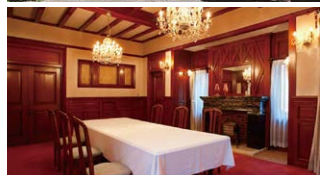
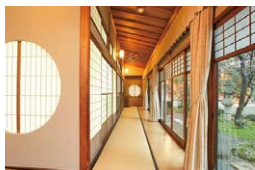
当館唯一の和洋室。全面、たたみの空間。和モダン105平米には寝室が2ヶ所、ベッド4台。大切な方々との旅に。



305 MAYU ~繭~

旅の日を包み込むコクーンチェアが人気の優しいお部屋。あたたかな色調が印象的なラグジュアリー空間です。

※全部屋、寝室は最適な寝姿勢(スリーピングポジション)を大切にしたこだわりの寝具を採用しています。



[菊の間・迎賓館]

菊の間は1928年(昭和3年)に竣工した片倉館に隣接する敷地内に、片倉家別邸として建てられました。

設計者は片倉館と同じく大正から昭和戦前を代表する建築家の一人である森山松之助。

当初は諏訪湖に面して建っていましたが、1948年(昭和23年)「かたから諏訪湖ホテル」建築の際に、現在の場所に移築。2011年(平成23年)10月28日、国登録有形文化財に登録されました。



Main Dining La Soie ラソア

フランス語の「絹」の名を冠すメインダイニング。シルクのように上質なときを織りなす、開放的で明るく滑らかな空間をコンセプトにお客様へ華やぐ美食をお届けします。地元信州の四季の食材に満ちた、シェフの逸品を心ゆくまでご堪能ください。

食材へのこだわり

牛肉

信州の大自然の中でストレスなく育つ、食味に優れた「信州プレミアム牛」と「蓼科牛」を心ゆくまで。



岡谷産シルクパウダー

美容にも健康にも良いとされるシルクパウダーを使ったカレーやプリン、ドレッシングやスープ。



お米

「高島藩献上米」として知られる、諏訪の殿様御用達の美味しい米沢米(茅野市)。



パン

八ヶ岳カントリーキッチンベーカリーの薪石窯パン、沢米を使った米粉パン(富士見町)。



野菜

夏と秋は八ヶ岳奥蓼科農場いしい農園(茅野市)の新鮮野菜。冬春は千葉県のいちかわ農場から。



ジェラート

諏訪湖マルシェ。八百屋さんが作る、お店の野菜や果物を使った手作りジェラート。



乳製品／卵

八ヶ岳山麓で飼育された牛・鶏から作られる乳製品。シルクプリンは黄身が白い希少な卵を使用。



七ツ釜の源泉

諏訪湖の東側の湖底には七つの温泉が吹き出す穴があると言われ、古くから湖面が全面氷結しても七ヶ所だけ穴が開いて見えたことから、人々は湖底の源泉を「七ツ釜」と呼びました。

昭和58年の温泉掘削中に温泉が高さ50mまで自噴し、諏訪湖の温泉の豊富さを広く知らしめました。現在も諏訪湖間欠泉センターでは管理された、高さ5mほどの噴出を見ることができます。



全客室のお風呂は「源泉かけ流し」。

七ツ釜の源泉の特徴である薄い琥珀色の湯が自慢です。

[泉質] 単純温泉(弱アルカリ性低張性高温泉)

[色香] ほとんど無色透明・微硫化水素臭

[温泉の効能] 肩こり、関節痛、リウマチ、神経病など

【片倉館】

1928年(昭和3年)に地域住民の方々に厚生と社交の場を提供する目的で竣工され、現在も100席以上ある休憩室や食堂、売店が周辺の方に利用されています。

千人風呂

昭和初期に建造された天然温泉大浴場です。大理石造りの浴槽は100人が一度に入浴できるほどの広さを誇り、深さ1.1mで立ったまま入る珍しい立ち湯の温泉です。かたくらシルクホテル宿泊の方には自由にご入浴いただけます。



明治6年(1873年)、養蚕・製絹業として創業したときから片倉家は、日本の国土と国民からの恩恵によって今があると、感謝の心を抱き続けています。だからこそ地域貢献に力を注がせていただくことが御恩返しと考えています。地域との共存、地域の特性を生かしたおもてなしこそがホテルの魅力であるべきと信じました。

新しく生まれ変わった「かたからシルクホテル」の館内に、そして提供する様々なサービスに、諏訪のこだわりの良品を使わせていただくことになりました。

こだわることに、こだわる。ここにしかないおもてなしで、訪れる人に満ち足りた時の流れと安らぎを。



有限会社スワコ精密工業
ボールペン

【SUWAプレミアム】認定商品。木工技術を融合した、オリジナル木軸ボールペン&シャープペンシル。



MHオーディオ
スピーカー

【SUWAプレミアム】認定商品。クリアでありながら自然な響きのアコースティックスピーカー-WAON。



ラインハルト株式会社
化粧品各種

シャンプーやボディソープ、化粧水、乳液、洗顔料などゴールデンシルク配合のホテルオリジナル製品。



株式会社旭 / 有限会社前田技工 / 株式会社丸真製作所
カトラリー

片倉一族の思想「地域貢献」から【made in SUWA】を異業種とのコラボにより始まったカトラリープロジェクト。



ガルニエ・ティエポー
タオル

かつて「片倉紡績」の出張所のあったフランスの無形文化財。一流ホテルでも愛用される極上の逸品。



株式会社丸八真綿
寝具

仰向け、横向きどちらでも睡眠状態に最適な寝姿勢をキープできるマットレスと枕。羽毛ふとんと一緒に。



株式会社ベスト・カラー
部屋着

眠りの追求に、部屋着にもこだわり、コットン生産地支援にも参加している企業のコットン100%生地を。



株式会社ストリーム
桑甘露(お茶)

おかいこ様の餡として知られる「桑」。血糖値を下げる効果があるとされ、静岡川根茶葉とのブレンドで美味に。

ホテル情報

■ ホテル

住 所:〒392-0027 長野県諏訪市湖岸通り4-1-43
敷地面積:約7,200㎡
建築面積:約1,150㎡
構造・階数:鉄骨造・4階建て
専用駐車場:20台

■ 客室 全10室

部屋タイプ:2階客室数 5部屋(洋室5部屋)
3階客室数 4部屋(洋室3部屋・和洋室1部屋)
菊の間 1部屋(※販売時期については今後調整)
収容人数:40名

■ その他の施設

メインダイニング(最大収容52名)
ロビーラウンジ、2F片倉ギャラリー、3Fライブラリーラウンジ
有形文化財:迎賓館・菊の間

【会社概要】

商 号:片倉興産株式会社
所 在 地:〒104-0044 東京都中央区明石町6-4
代 表 者:片倉康行
設 立:昭和23年6月10日
事 業 内 容:不動産業。旅館業
資 本 金:3,800万円

【ホテルに関するお客様からのお問い合わせ先】

片倉興産株式会社 かたくらシルクホテル
住 所:〒392-0027 長野県諏訪市湖岸通り4-1-43
電 話 番 号:0266-52-2151(代)
U R L:<https://www.katakura-silkhotel.co.jp>